

次に、議席10番、新谷一男君。

〔10番 新谷一男君登壇〕

○10番（新谷一男君） 皆さん、こんにちは。10番の新谷でございます。きょうは、久しぶりにこの議場で一般質問ができることを私自身ありがたく思っています。年でございます。そういうことで年に負けずに頑張っていきたいと思えます。

きょうは2つの項目で質問したいと思えますが、その前に、一昨年集中豪雨では、被害を受けたご家族の皆さんにも心からお見舞い申し上げたいと思えます。そして、第3回の定例議会の折、補正予算を組んでいただいて、雨水対策の一環として、初見自動車横から吉祥院の北まで、第一都市下水道の交差部まで、本当に暗渠というか、そういう形の1メートル80ぐらいの深さの中、そして狭い中作業された作業員の皆さんには、心からご苦勞に対して感謝申し上げたいと思えます。

さて、本題に入りたいと思えますが、私は、都市第一下水道の汚泥処理についてご質問を第1点はさせてもらいます。

私がちょうどめくっていたところ、平成14年9月2日から13日までの定例の第3回議会がありまして、そのとき、現在の町長が私と同じように1年生でございました。そういうときに、私は都市下水路に堆積している汚泥の処理について一般質問をさせていただいております。そのときに町長の答弁では、産業廃棄物として処理するため、概算事業費で約1億5,000万から2億円の費用を要し、実施予定期間を5年間、全長1,280メートル、この下水を全部きれいにしたいという答弁がありました。そういう中で、状況が変わりまして、私らが第1回の議員になったときには町の予算も地方交付金が約18億くらいあったかなと思えます。その当時の予算は88億くらいで組んでいたと思えます。そういう中で、都市下水道の汚水処理について、やはり交付税が大分落ち込んできて、現在では13億くらいかなという感じがありますけれども、そういう中で、吉祥院の、先ほど申し上げました汚泥処理した部分のところから北まで、栗原茶園のところまででございますが、そういうことで、この汚泥処理についての町の考え、それから予算としてどれくらい計上してやっていくのか、まず第1にお聞きしたいと思えます。

2つ目ですが、須藤さんのあれをとって申しわけないのですが、これ見せていいですか、資料なのですが。

○議長（木村信一君） はい。いいですよ。

○10番（新谷一男君） いいですか。実は、染谷川の川に堆積されている土砂の処理についてですが、まず1番目に、これ上流ですね。私からいうと、上流でないのです。というのは、354の暗渠のところまでです。これが1番。こちらもね……。それで、2番目が中間です。中間。そして……。こっちか。3番目ですね……。こっちもね、こっちか……

〔何事か言う者あり〕

○10番（新谷一男君） 今、回します。こういうことで、一応現物を写真におさめてきたところでございます。1、2、3、4、5と番号振ってありますから、5番目は都市第一下水道の交差部までです。そういうことで、一応産業建設部長にお見せいたしますので、よろしくお願ひします。

そういうことで、染谷川というのは住民にとっても恐らく重要河川の一つだと思えます。そういう中で、今写真でちょっと見てもらったのですが、川にですね、南洋の海ではないのですが、マングローブではございませんが、川に雑木林ができていく状況なのです。そういう中で、はっきり言って水がその

雑木林みたいな格好の中でやっそこすっそこ染谷川の排水機場に流れていくような状況があります。そういうことで、一昨年洪水のときには須藤さんがモットーとしている染谷川の上流の部分ですが、長五郎まで満水になってしまったのですね。そういう状況で、やはり染谷川に対してはどういう方法と、それから予算と、何年間の……何年間では困りますが、渇水期を利用して何とか取り除いてほしいという地元の要請も含んで、質問を終わりたいと思います。

以上です。

○議長（木村信一君） ただいまの質問の1項目めに対する答弁を求めます。

産業建設部長， 齊藤時雄君。

〔産業建設部長 齊藤時雄君登壇〕

○産業建設部長（齊藤時雄君） それでは、新谷議員さんのご質問にお答えしたいと思います。

先ほど新谷議員さんのほうからもございましたように、この公共下水道の事業につきましては、平成14年に予算化しまして、当初3,000万の年間予算を組んでおったわけでございます。総事業費が当初予定が2億2,000万、総延長距離が1,420メートルということで計画されていたところでございますが、今回、900万の予算ということでなかなか進まなかったのですが、今回の緊急雇用の臨時交付金の中で1,000万を増額補正させていただきまして、今回町うちの部分について工事を行ったところでございます。

それでは、都市第一下水路、今後の汚泥処理計画についてのご質問でございますが、議員ご指摘の旧都市下水路につきましては、平成2年の境町公共下水道事業に関する都市計画の決定及び事業認可に伴い、雨水幹線として用途がえされておりますが、現況としましては、生活雑排水の流入により汚泥が堆積し、大雨洪水時における周辺の冠水、また悪臭の大きな要因となっているところでございます。町では、これの弊害を解消すべく、平成14年度から10カ年計画で堆積汚泥のしゅんせつ工事に着手しております。総延長につきましては、先ほど申しましたように1,420メートルのうち、現在までに染谷川機場先から栗原茶園工場までの下流部分810メートルを実施しております。今回、先ほど申しましたように、臨時交付金の補正によりまして、初見自動車から吉祥院北側の上流部を今回約180メートル実施したわけでございます。しかしながら、残り残事業につきましては、約430メートル部分が未完成となっております。今議会の産業建設委員会調査の委員長報告にもありましたように、委員会からも要望がございますので、今後事業のすべてが町の一般財源となりますが、財源事情を考慮した上、引き続き計画的に事業推進を図る所存でございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（木村信一君） ただいまの答弁に対し、質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 私は、一番大事なことは、川というものは流れるべきものの性格を持っています。道路もそうだと思います。障害物があり事故があったりしたときは必ず渋滞が起きます。川でも、何か障害物やいろんな汚泥とか積もってしまえば、その性能が全部否定されるような状況があります。そういう中では、やはり渇水期のときに、何ぼでもできる限り予算をとりながらやっていただければいいなと思っておりますが、今聞いていると、予算はとらない、計画は何年から何年までという話もないので、これでは納得できませんから、もう一回言ってください。

○議長（木村信一君） 答弁を求めます。

産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） それでは、お答え申し上げます。

先ほど5枚ほどの写真を見せていただきまして、公共下水道、この染谷川に流入する部分については、公共下水道のほうの改修ということで行う予定でございます。今まで公共下水道にも竹とかそういうものが生えておりまして、流れが通れなかった状況がございまして、下流部分の工事の中でそれはある程度解消しているかと思えます。やはりこれは染谷川の流入とあわせておりますので、そのコサとか竹、それから木については、染谷川の改修のほうでこれからしゅんせつを考えておりますので、ご了解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） あの、議題を変えないでほしいな。はっきり言って、私は都市第一下水道の栗原お茶屋さんから吉祥院の裏まで、今言ったら430メートルが残っている。この問題だって、やはりこの間、部長わかっているでしょう。あそこせっかく1メートル80もあるところを掘ってもらって、あそここの交差したところには50センチも差が出ているわけですよ。第一下水道のほうが多いのですよ、泥が。泥と言ってはうまくないけれども、汚泥が。そういう中で、うまく流れると思いませんか。

○議長（木村信一君） 答弁を求めます。

産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） お答え申し上げます。

議員おっしゃるとおり、上流部分からでは、やはり下の堆積物がありますので、なかなか流れるということはないかと思えます。ただ、しかし、今回緊急ということで、やはり町うちの方々、冠水のある程度なるだけ少なくするため、やむを得ない措置として上流部分から早急な改修を行ったわけです。今後につきましても、栗原さんから吉祥院北側の部分についても、これは議会の議員さん、産業建設委員さんたちからも要望がございまして、今後本当に町の予算を削った中でも改修を重ねていかなければと、冠水を防がなければならないと考えておりますので、ご了解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（木村信一君） 答弁に対し、質問はありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 物事は目標を持ってそのことに当たらなければ全然前進しないのですよ。だから、私が言っているのは、栗原お茶屋さんから、例えば中和さんのとこいらまでこしはやるとか、はっきりしたそういう計画を持って、どれぐらいの予算でやりますよと。染谷川と一緒にされては困るから、今のところ。染谷川は2回目の話だから。そういうことではっきり言ってください。

○議長（木村信一君） 答弁を求めます。

産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） お答え申し上げます。

今年度緊急補正をしまして、今年度実施したわけでございます。しかし、残り部分についても、これについても来年度予算、今予算策定の時期でございます。財政等検討をした中、なるだけ早目に早期解決するよう努めさせていただきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 実際、あれは本当に困っているわけだから。だから、来年度予算に幾らくらい計上する、計上したい、まあ部長の意見でその予算が通るかどうかわかりませんが、それくらいの気概を持ってやってもらわなければ、住民は安心して暮らせませんよ。そのところはどうか。

○議長（木村信一君） 産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） お答え申し上げます。

委員さんがおっしゃるように、この平成14年のときには新谷議員さんがおっしゃるように88億の予算の中でやってきたわけです。現在委員さんもおわかりのとおり、それも削減されておる状況の中でございますので、私のほうで幾らということより、やはり安く、完全な工事をして、住民に安心をいただくよう、今後努めさせていただきたいと思っておりますので、予算の金額等についてはご了承願いたいと思っております。よろしく願い申し上げます。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） この問題については終わりにしたいと思っておりますが、やはり終わるからには、ちゃんと約束をしていただきたいなと思っております。というのは、予算も計上します、それでは期限を例えば来年の何月から何月までは第1期工事としてどれくらいやると、そこいらの気概を持って対応してほしいのですよ。それが私の第1番目の質問を終わるに当たっての質問です。やってくれるかどうか。

○議長（木村信一君） 答弁を求めます。

産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） なかなか厳しいご質問でございます。今回21年度の補正予算、臨時交付金のほうも1億程度また入るかと思っておりますので、その中でも要望し、来年度の新年度予算の中でも私の権限の中で要望させていただきたいと思っておりますので、ご了承願いたいと思っております。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） あのね、具体的には部長ではちょっとね、定年も近くなっていますし、あれですが、町長の考えはどうかのですか。今の話。

○議長（木村信一君） 町長、野村康雄君。

○町長（野村康雄君） あれは川ではないのです、都市下水なのです、実はね。今公共下水道ができましたから、排水路ということになってはいますが、当時も今も実は都市下水としてのいわゆる処理していないものもかなり流れているのです。ですから、1回掃除しても恐らく3年もたつとまた詰まってしまうかなという恐れはあるのですけれども、ただ、町の考えとしては、下からやってこないね、徐々に、意味がないものから、毎年1,500万ぐらいずつ今までやってきたのですよ、年間。下からね。この前の冠水でどうしてもあの近辺の人たちがこっちを先にやってほしいというので、たまたま臨時交付金のお金がありましたから、そこを180メートルですか、やらせていただいたのですが、これが思わぬ本当ひどい状況でありましたので、思わぬ予算もかかって補正を組んでいただくようなことに

なってしまいました。そういうこともありまして、また下から順々に、年1,000万とか1,500万とかという計画的に下からやっていきたいと。最終的には全部上までやる予定でありますので、ただ予算については一遍に1億も2億もつけられるような状況ではありませんので、下から50メートルなり100メートルなり順々に整備をしていきたいと、こう思っています。と同時に、町の皆さん方には、ぜひ公共下水につないでいただけるようなお願いもしていけないと思っておりますので、よろしくご理解をいただきたいと存じます。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 第1回の質問については、まあ、ある程度財政のほうも確かに逼迫しているような状況あります。しかし、町のために使う税金だったら町の人も納得してくれるのではないかなと思っています。二度とあの、実際自動車屋さんから吉祥院までの間、はっきり言って私は土管の中の泥を出した状況と同じだと思うのですよ。だから、下へ流れないからまたあそこへいっぱいたまるとはなかなという、素人の考えかもしれませんが、そういうことで一番心配しているのはあの近くに住んでいる人がまた集中豪雨があって沈没してしまうようなことがあったら大変だなと。だから、お茶屋さんから徐々にでも早急に掃除してもらいたい。話を聞くときには、野田結城街道の中の暗渠の問題の広報についてもいろいろ検討されているということも聞いていますが、この辺はどうなのですか。暗渠、あの中、土管の中の掃除。

○議長（木村信一君） 答弁を求めます。

産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） それでは、お答え申し上げます。

354と結城野田線の下だと思っておりますけれども、これについては、やはり吸い取りという形の中で、工事屋さんでやれる方がありますので、そういう工法をとった中でやりたいと考えております。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） いろいろ完全納得というわけにはいきませんが、ぜひ町の住民のためにも早急にこの汚泥の処理についてはやっていただきたいということで、第1問目は終わりにしたいと思います。

○議長（木村信一君） 続いて、質問の2項目めに対する答弁を求めます。

産業建設部長。

〔産業建設部長 斉藤時雄君登壇〕

○産業建設部長（斉藤時雄君） それでは、2番目の染谷川の堆積物処理についてのご質問にお答え申し上げます。

染谷川に堆積している土砂及び立ち木の処理についての処理計画についてでございますが、これ染谷川本流と分流がございまして、両方堆積しているような状況でございますが、両方についてお答え申し上げます。染谷川に堆積している土砂のしゅんせつ工事につきましては、本年、地域活性化・経済危機対策臨時交付金1,000万円で、県道若・境線から晩翠までの177メートルのしゅんせつ工事を実施する予定でございましたが、当初の見込みより堆積量が多いため、今議会において540万円の増額補

正をお願いしたところでございます。今後早急に工事を実施し、冠水防止に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、立ち木の処理計画についてであります。立ち木によりごみ等の流れが阻害され、冠水を引き起こす要因となっております。現在冠水時期となりましたので、都市下水路分岐から国道354号線までの約200メートルの立ち木を処理すべく計画中であります。また、国道わきの竹の伐採につきましては、県工事事務所と協議する中で、今後検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（木村信一君） 答弁に対し、質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 写真でも見てもらったのですが、これ本当にだれが見ても川だとは思いませんよね。汚泥の場合にはいろいろ産業廃棄物という法があって、なかなか規制がかかって、その最終処理までやらなければならないというようなことも聞かされております。ただし、今の河川法の中では川の中にたまった泥は汚泥とはみなしませんので、その辺のところはどう考えていますか。

○議長（木村信一君） 答弁をお願いします。

産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） 一応河川ということは、1級河川の部分については汚泥とはみなさないかもしれないのですけれども、準用河川ということでございますので、今回下水と同じような扱いになりますので、染谷川については汚泥処理ということで産業廃棄物という形になりますので、お金のほうもかかると思います。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 先ほどの答弁では、県のほうともいろいろ相談しながらやっていきたいということでございますが、現実に染谷川に生えている柳の木とか、いろいろな木がもう縦横無尽に生えているわけです。その、まず、土を取るのが先決なのですが、応急措置としては、柳を切ったり片づけたりするような考えはないのですか。

○議長（木村信一君） 産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） 先ほど、これについては、立ち木等については、町で実施するというのを答弁したつもりであるわけなのですけれども、そのほか、354ののりについているものについては、これは県のもとの土木事務所ですね、現在の工事事務所と打ち合わせした中、その伐採について考えていきたいということをお願いしたいと思っております。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 私はいつも言うのですが、物事をやるときにはいつからいつまで、どのようなことをやるということなので、はっきり期限をつけてほしいなと思うのです。

○議長（木村信一君） 産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） これも先ほどお答え申し上げましたが、今年度計画して実施する予定だということで先ほどお答えしたわけでございます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（木村信一君） 質問，新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 普通，年度がわりはもう3月で切れるでしょう，今年度といえば，3月までにはやるということですか。

○議長（木村信一君） 産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） お答え申し上げます。

これにつきましては，この伐採等については，職員の対応で行いたいと伐採については考えております。ですから，自動車のリースとか機械のリースはこれは予算のほうから出しますけれども，ほかについては工事発注でございませぬので，渇水時期がある間に実施したいということで考えております。

○議長（木村信一君） 質疑ございますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） ちょっとしつこいかもしれませんが，渇水期というと，もう12月から第1渇水期に入って，もう2月ごろまでは完全なる渇水期だと気候なんかでは言っていますけれども，そうすると，まあ12月はもう無理だから，1月から3月までの間にやるということですか。

○議長（木村信一君） 産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） お答え申し上げます。

この状況は進めていかなければ，ちょっとどれだけの量かということは把握できません。ただ，今後，3月までに完了を考えておりますが，その後，立ち木を切るだけではしゅんせつとは違いますので，渇水期を使わなくてもできる部分がございますので，今後その状況の中で進めていきたいと考えておりますので，ご理解をお願い申し上げます。

○議長（木村信一君） 質問ございますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 写真見てもらってわかっていると思うのですが，転落防止もちゃんとフェンスがこれついていたのですね。いつの間にか，管理が不行き届きのために，そのフェンスもおっ倒れてしまっとうにもならない状況が見受けられます。やはり立ち木を伐採した後は幾らかきれいになると思うのですが，その堆積した残土を処理されたときには，やはりもとのようにフェンスをつけて，子供の転落防止などを施す気持ちはあるのかどうか。

○議長（木村信一君） 産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） お答え申し上げます。

このネットとかにつきましても，これは染谷川の管理下にもあるかと思うのですけれども，それに隣接する地権者の方々のご協力もいただかないと，なかなか整備できないところがございます。現況については，なるだけ復旧するよう，そして危険防止には努めたいと考えておりますので，よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

○議長（木村信一君） 質問ありますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） では，今染谷川の両側にコンクリートで全部あるわけですね，そこに既存の，例えばここに幾らかおっ倒れかかった網の目のフェンスがあるのですが，こういう状況は，現状にあるものについては現状のような状況で復旧したいということでよろしいですか。

○議長（木村信一君） 産業建設部長。

○産業建設部長（斉藤時雄君） お答え申し上げます。

現況あるものについては、これは危険性があるということで設置したものであるかと思しますので、やはりそれを撤去したときにまた事故が起こってはこれは町の責任ということになりますので、ある程度の現況復旧は考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（木村信一君） 質問ございますか。

新谷一男君。

○10番（新谷一男君） 私が第1回のときの汚泥の処理については町長にも特にお願ひして、万が一転落したときにはその下水道に入れるように配慮してくださいということで、ステンレス製のはしごをつけてもらっております。やはり、染谷川も結構深さは2メートル近くありますので、そういう状況もなかったからつけないのではなくて、工事完了したときにはそういう配慮もしていただきたいなと思ひます。これは要望ですから、結構です。そういうことで、私はこれで質問を終わります。

ありがとうございました。

○議長（木村信一君） これで新谷一男君の一般質問を終わります。